

令和4年度 八千代中学校 学校評価シート【後期】(全体)

学校教育目標

選択肢の数値換算規準

よくあてはまる：5 (よく思う)    あてはまる：4 (やや思う)    あまりあてはまらない：2 (あまり思わない)    まったくあてはまらない：1 (まったく思わない)

評価指標

A：達成している (達成値が4.0以上4.5未満)    B：おおむね達成している (達成値が3.5以上4.0未満)    C：あまり達成していない (達成値が3.0以上3.5未満)    D：達成していない (達成値が3.0未満)

学校教育目標

「優しく、賢く、逞しく」～ 未来を切り拓く生徒の育成 ～

本年度の重点目標  
「全教職員で共通理解を図り、組織として徹底する  
～脱学年セクト～」

学校自己評価 (達成状況) 【 A:達成している B:おおむね達成している C:あまり達成していない D:達成していない 】

観点	項目	教職員	保護者	生徒	今年度評価 (点数は評価指標の平均)					取組 (達成) の状況	課題と改善方策	学校関係者評価
					達成値	教職員	保護者	生徒	評定			
(1) いのちと人権を守る教育	① 確かな生徒理解に基づく生徒指導	①教育相談等を通じて、一人ひとりの生徒の内面を共感的に理解し、信頼関係に基づいた指導に努めている	②学校は、お子さんの悩み等内面の共感的理解に努め、適切な指導をしている	③先生は、自分の悩みや困ったことなどを理解し、丁寧に指導されている	4.1	4.5	4.2	3.6	A	○達成している状況である。 ・(1)③の「特別支援教育の充実」については、他の項目に比べて若干数値が低い傾向にある。	・特別支援教育については、教職員の理解と力量に差がある。特別支援学級の生徒及び通常学級に在籍する支援を要する生徒への個別支援について、一層の研修が必要である。 ・生徒指導上の課題について、SC、SSW、家庭相談員等専門機関との連携は定着してきた。 ・個別支援カルテの活用が定着し、いじめや生徒指導上の問題について情報共有及び対応のスピードが上がった。今後、引き継ぎでの活用を進める。 ・問題行動等への指導が入りにくい生徒に対して、担任だけで抱え込まず、学年団及び学校全体で組織的に指導していく必要がある。	・特別支援教育についての自己評価が低い教員については、自己研鑽に努めてほしい。また、特別支援学級を担当する時間を増やす等関わりを増やして、意識を高めてほしい。 ・特別支援教育について自己評価が低い教員については、なぜ、その評価になったのか聞き取りや分析が必要ではないか。
	② いじめの未然防止・組織的対応	②いじめ防止基本方針に基づき、迅速かつ組織的な対応に努めている。また、生徒支援カルテシステムによるきめ細やかなサポートに努めている	③学校は「いじめを許さない」という姿勢で早期発見に努めるとともに、保護者と連携をとりながら適切に指導を行っている	④先生は、いじめを許さないという姿勢のもと、いじめが発生した場合は、適切に指導されている	4.1	4.5	4.0	3.9	A			
	③ 特別支援教育の充実	③個々の生徒の発達特性を理解し、個別のニーズに応じて個別支援にあっている			3.9	3.9			B			
	④ 不登校支援の充実	④不登校傾向の生徒に対して、組織的に適切な支援を行っている			4.1	4.1			A			
	⑤ 危機管理体制の確立と安全の確保	⑤「初期対応が全て」「危機管理のさしすせそ」の意識のもと対応している。また「報・連・相」の徹底を図っている			4.4	4.4			A			
	⑥ 専門機関・関係機関との連携	⑥学校だけでは指導困難な生徒支援にあたり、専門機関や関係機関と連携して取り組んでいる			4.3	4.3			A			
(2) 豊かな心	① 温かい人間関係づくりの推進 (1)	⑦生徒一人ひとりの居場所がある学級づくりを努めている	①お父さんは、学級で楽しく過ごしている	①学級で楽しく過ごしている	4.1	4.1	4.1	4.3	A	○達成している状況である。 ・(2)⑨「多可町(八千代)」が好きである」という設問については、教職員のふるさと教育への取組の数値が3、4と低い傾向にある。	・ふるさと教育については、生徒の数値は低くない。教員が意識していないなくても、結果としてふるさとを愛する心が育っているならば、教員もその取組に自信を持ってよいのではないかと。 ・教職員への設問がこれよりよいのか。もう少し評価しやすい設問に変更する方がよいのではないかと。 ・そもそも全体的にふるさとを愛する心を育てていく必要があるのか。もっとこういう町であってほしいと思うのが自然ではないか。	
	② 温かい人間関係づくりの推進 (2)	⑧特別活動に、生徒一人ひとりが主体的に取り組み、自立性や社会性を育めるよう計画し、実践している	④お父さんは、学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる	④学校行事や生徒会活動に意欲的に取り組んでいる	4.2	4.4	4.0	4.2	A			
	③ 人権意識の向上 (1)	⑨「人権教育コアカリキュラム」を基盤として、すべての教育活動を通じて、自尊感情や他者への思いやり等の人権意識の向上に努めている	⑤お父さんは、自分のことと他人のことを大切にしている	⑤自分のことと他人のことを大切にしている	4.3	4.3	4.3	4.3	A			
	④ 人権意識の向上 (2)	⑩いじめとは何かを理解させ、いじめにつながらないように、相手の気持ちを考えながら生活するよう指導している	⑥お父さんは、社会のきまりやマナーなどを守って生活している	⑥いじめにつながらないように、相手の気持ちを考えながら、生活している	4.4	4.5		4.3	A			
	⑤ 道徳教育の充実 (1)	⑪社会生活を送る上で必要な規範意識を育む教育実践に努めている	⑥お父さんは、社会のきまりやマナーなどを守って生活している	⑦社会のきまりやマナーなどを守って生活している	4.3	4.3	4.3	4.4	A			
	⑥ 道徳教育の充実 (2)	⑫道徳の授業を確保し、指導方法の工夫改善に努めている	⑧道徳の授業に一生懸命取り組んでいる	⑧道徳の授業に一生懸命取り組んでいる	4.0	4.2		3.9	A			
	⑦ キャリア教育の推進 (1)	⑬「トライやる・ウィーク」をはじめとする体験活動等を通じて、生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実を努めている	⑦お父さんは、働くことの意義を理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している	⑨働くことの大切さを理解し、将来の夢や目標の実現に向けて努力している	4.1	4.5	3.7	4.1	A			
	⑧ キャリア教育の推進 (2)	⑭生徒の将来を見通した長期的な視点に立った上で、学年に応じた柔軟性のある進路指導を行っている	⑧学校は、学年に応じた適切な進路指導を行っている	⑩卒業後の進路について、目標を持っている	4.0	4.2	4.1	3.8	A			
	⑨ ふるさとを誇りに思う心の育成	⑮教科や道徳、特別活動や総合的な学習の時間(ふるさとキャリア教育、楽園訪問、トライやるウィーク、クリーンキャンペーン等)の指導を通して、ふるさとを愛し、誇りに思う気持ちを育てるよう指導している	⑩多可町(八千代)が好きである	⑩多可町(八千代)が好きである	3.6	3.3		3.9	B			
(3) 確かな学力	① 学力向上 (授業改善)	⑯授業内容が理解できるよう、工夫して授業を行っている	⑨お父さんは、学校の授業の内容が理解できている	⑫学校の授業の内容が理解できている	3.8	4.2	3.4	3.6	B	○概ね達成している状況である。 ・(3)①「学力向上(授業改善)」については、授業内容の理解という点で、生徒、保護者ともに評価が低くなっている。	・特に課題が見られるのが、授業の理解、家庭での読書、家庭学習の3つである。 ・学習指導要領が改訂され、「主体的・対話的で深い学び」を目指して授業スタイルの改善が進んでいる。課題解決学習のスタイルの授業が増えている。一方で、従来の講義形式の受け身の授業スタイルを好む生徒もおり、段階的な授業改善が必要である。 ・家庭学習については、「家庭学習の手引き」の内容をスタディサブリの活用を盛り込み、改訂を行った。自主学習ノートについては廃止をし、予習復習について、家庭学習を何をすべきかを明確化した。スタディサブリについては学力高い生徒ほど家庭学習で取り組む傾向にある。 ・全体的に学力に自信がない生徒が多い傾向にある。学びを定着させるためにも、予習・復習が必要(特に復習)であるが、宿題をきっちりやっとな生徒が少ない現状がある。自分一人で学習を進める力が弱いと思われる。 ・家庭での読書については、基礎学力の向上及び授業時数の確保のため、朝の読書を廃止してスタディサブリに切り替えたことの影響も大きい。町の読書週間とタイアップして、読書週間の取組を行う。図書館アドバイザーに月2回程度入っていただき図書室の環境改善を図る等の取組を進めたが、読書離れにストップをかけることはできていない。教職員の呼びかけも十分ではない。	
	② 学力向上 (基礎基本)	⑰朝の学習にしっかりと取り組ませ、学力向上に努めている	⑩朝の学習にしっかりと取り組んでいる	⑩朝の学習にしっかりと取り組んでいる	4.0	3.8		4.2	A			
	③ ユニバーサルデザインの授業	⑱「ユニバーサルデザイン」の視点に立ち、共通した授業スタイルにより、すべての生徒にとってわかりやすい授業になるよう工夫している	⑫授業では、「めあて」や「授業の流れ」が示されている	⑫授業では、「めあて」や「授業の流れ」が示されている	4.1	4.2		4.0	A			
	④ 主体的・対話的で深い学び (1)	⑲研究テーマ「主体的・対話的で深い学びを目指して」のもと、研究・研修体制を確立し、研究授業や職員研修の充実を図り、各自の資質・能力の向上に努めている	⑬授業の中で、ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組んでいる	⑬授業の中で、ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組んでいる	4.4	4.5		4.3	A			
	⑤ 主体的・対話的で深い学び (2)	⑳授業の中で、ペアやグループで話し合ったり、協力して課題を解いたりすることに積極的に取り組ませている	⑭授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる	⑭授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる	3.9	4.0		3.8	B			
	⑥ 主体的・対話的で深い学び (3)	㉑授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動を通して、学習の深化を図っている	⑮授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる	⑮授業の中で、自分の考えや意見を書いたり、学習したことを自分の言葉でまとめる活動に取り組んでいる	4.1	3.8		4.3	A			
	⑦ ICTの活用	㉒授業の中で、積極的にクロームブックやデジタル教科書等の活用を図っている	⑯授業では、クロームブックやデジタル教科書などを活用している	⑯授業では、クロームブックやデジタル教科書などを活用している	4.1	3.8		4.3	A			
	⑧ 読書活動の充実	㉓生徒が読書に励むよう、積極的に働きかけを行っている	⑰お父さんは、家庭でよく本を読んでいる	⑰家庭や学校でよく本を読んでいる	2.3	2.3	2.2	2.3	D			
	⑨ 家庭学習の習慣化	㉔スタディサブリやワーク・問題集、テスト計画表等を活用して、生徒の自主的・計画的な学習の充実を図っている	⑰お父さんは、ワーク・問題集やスタディサブリ等を活用して、家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる	⑰ワーク・問題集やスタディサブリ等を活用して、家庭学習に自主的・計画的に取り組んでいる	3.5	3.9	3.4	3.3	B			
(4) 健やかな体	① 基本的な生活習慣の確立	㉕正しい生活習慣や食習慣を身に付けさせ、自らの健康管理ができる生徒の育成に努めている	⑱お父さんは、正しい生活習慣や食習慣が身に付いている	⑱正しい生活習慣や食習慣に気を付けて生活している	3.7	3.6	3.7	3.8	B	○概ね達成している状況である。 ・(4)⑤基本的な生活態度の確立(メディア)」については、低い数値となっている。生徒、保護者評価の数値が低くなっている。	・親も含めて、家庭ではスマホばかりの環境である。家庭への働きかけは難しい。引き続き、町とタイアップして啓発を進めていくより方法ははないのではないか。 ・ノーマディアは現実的に不可能である。どれがSNSや動画視聴、ゲームなどを控えられるかが現実的。適切な言葉はないだろうか。 ・部活動については、積極的に参加している生徒が大半である。生徒数の減少により、運営が厳しくなっている現状がある。今後、部員が少ない場合は、多可町内の中学校との合同チームを編成して大会に参加する。	
	② 基本的な生活態度の確立 (挨拶)	㉖挨拶の指導を徹底している(いつでも、どこでも、だれとでも、目を合わせて)	⑲お父さんは、家庭や地域でしっかりとあいさつをしている	㉖あいさつがしっかりとできている(いつでも、どこでも、だれとでも、目を合わせて)	4.1	3.8	4.2	4.3	A			
	③ 基本的な生活態度の確立 (時間)	㉗時間を守るよう指導を徹底している	⑳学校で時間を守って生活している	⑳学校で時間を守って生活している	4.3	4.2		4.3	A			
	④ 基本的な生活態度の確立 (清掃)	㉘無言清掃で時間いっぱい清掃するよう指導を徹底している	㉗無言清掃で、時間いっぱい一生懸命、掃除をしている	㉗無言清掃で、時間いっぱい一生懸命、掃除をしている	4.2	4.3		4.0	A			
	⑤ 基本的な生活態度の確立 (メディア)	㉙メディア(テレビ、タブレット、スマホ等)の適切な使い方について、指導している	㉘お父さんは、家庭で作成したルールを守り、テレビやタブレット、スマホなどけじめをつけて、見たり使ったりしている	㉘家庭で作成したルールを守り、テレビやタブレット、スマホなどけじめをつけて、見たり使ったりしている	3.4	4.3	2.8	3.1	C			
	⑥ 部活動	㉚生徒が自主的に活動し、挑戦する楽しさや喜びを味わうことのできる部活動の運営を心がけている	⑲お父さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる(お父さんが部活動に所属している人のみ)	㉚部活動は充実した活動になっている(お父さんが部活動に所属している生徒のみ)	3.9	3.7	4.1	3.8	B			
(5) 信頼される学校	① 信頼される教師集団	㉛保護者からの相談・要望に対し、誠実な対応を行っている。また、生活指導上の問題点等については、保護者との情報共有を迅速、かつ、適切に行っている	㉛学校は、保護者の皆様からの相談・要望に対し、誠実に対応している	㉛先生は困ったときには、親身になって、相談に乗ってください	4.2	4.7	4.2	3.6	A	○達成している状況である。 ・(5)①「信頼される学校」において、教職員、保護者の数値は上がっているが、生徒の数値は前期に比べて、約0.4ポイント低くなっている。学年間の数値のばらつきも大きい。	・3年生については、前期に比べて0.2ポイントあがっている。2年生については、前期に比べて約1ポイント数値が下がっている。特に低い評価をした生徒が数名いる。しっかりと生徒と向き合い話を聴き、真摯に対応する姿勢を教職員で再確認する。	
	② 積極的な公開、情報提供	㉜学校HPや通信等を通じて、保護者・地域への積極的な情報公開・提供に努めている	㉜学校は、HPや通信等を通じて、保護者の皆様へ教育活動内容を積極的に公開し、わかりやすく伝えている	㉜配布プリント(学年通信、学級通信、陽光、案内文書など)を必ず家の人に渡している	4.3	4.6	4.0	4.2	A			
	③ 学校満足度	㉝八千代中学校の教育に満足している	㉝八千代中学校が好きである	㉝八千代中学校が好きである	3.8		3.9	3.7	B			
(6) 働きがいのある学校	① 学校組織運営	㉞「学校経営方針」のもと、組織の一員として、密な情報交換を行いながら、能動的・創造的に教育活動にあたることのできている			4.1	4.1			A	○概ね達成している状況である。 ・(6)②「勤務時間の適正化」④「ワーク・ライフ・バランス」については、教員評価の数値が低い傾向にある。	・超過勤務については、個人差が大きい。良い教育をしようとするだけでも手間暇がかかる。保護者と連絡をとろうとすれば、どうしても勤務時間が遅くなる傾向にある。事務仕事を効率よく進め、生徒と向き合う時間をとりたい。 ・若い教員を中心にタイムマネジメントを意識してできるだけ効率的に業務を行うようとする職員は増加している。 ・管理職にも何でも言える環境をつくっていくこと大事。そのためにも、声かけ、進捗状況の確認が必要。みんな見てもらっているという安心感があればよい。	
	② 勤務時間の適正化	㉞定時退勤日の完全実施、タイムマネジメントを意図した効率の良い職務の遂行に努めている			3.2	3.2			C			
	③ 明るく風通しの良い職場づくり	㉞あらゆるハラスメントのなく、風通しの良い職場環境である			3.9	3.9			B			
	④ ワーク・ライフ・バランス	㉞年次休暇を計画的に取得している			3.4	3.4			C			